

【平成17年重大ニュース】

1月3日 「ぜんざい会」

OB19人・OG10人（名簿記入者のみ）合計29人が参集し、バスケットで汗を流し、懇親を深めました。参加者から現役に67,000円のお年玉をあげました。

1月8日～9日 新人戦県大会（男子）

1回戦は八幡中央に圧勝。2回戦は福大大濠に55：88で敗れましたが、失点を100点以内に抑えたのは立派でした。また、現役が負けて悔しそうな顔をしていたのが印象的でした。

3月23～26日 現役合宿

男女共アクションで実施。男女合わせて20校くらいが参加し、練習試合を繰り返していました。筑籠会基金から、男子に5万円、女子に3万円の援助を行いました。

3月27日 筑籠会総会

高20回尾谷副会長経営の「月兎」で75周年記念事業の打ち上げを兼ねて開催されました。阿部会長は75周年記念事業を節目に勇退、後任は高20回赤星先輩です。また、女性初の副会長として高23回井本（清原）さんが就任しました。

5月7日 壮行会（男子）

県大会出場に向けて、父兄主催の壮行会が開催され、木村名誉会長・石川顧問・赤星会長・織戸が出席しました。

キャプテンは「インターハイ出場をめざします」と力強く宣言、女子マネージャーは「私がインターハイに連れて行きます」との発言で大受けでした。

5月14～15日 九州大会予選県大会（男子）

1回戦直方、2回戦小倉工業戦は圧勝。3回戦で2mのセネガル選手二人を擁するウィンターカップ全国優勝の福岡第一に82：95で敗戦。

応援席は健闘を称えましたが、選手たちはにこりともせず黙々と退場しました。

5月28～29日 インターハイ予選県大会（男子）

北九州高専・稲築志耕館・福翔を撃破して福岡県ベスト4となりリーグ戦に進出しました。

九州大会予選県大会で福大大濠を20点差で破った福翔を倒したのは、本当に快挙です。

選手も父兄たちも感激の涙、吉住先生は選手たちに胴上げされ、宙に舞っていました。

6月4～5日 インターハイ予選県大会リーグ戦（男子）

筑紫丘：福岡第一＝69：89、筑紫丘：福大大濠＝67：124、筑紫丘：中村山陽＝81：71の結果で福岡県第3位となりました

緒戦の福岡第一戦は、筑紫丘バスケットボールの歴史に残る名勝負でした。

206cmのセネガル選手と196cmの中国系選手を完璧に抑え、リバウンドも制して、終始筑紫丘ペースでの試合展開。42：34で前半を終了し、40年ぶりのインターハイ出場に王手をかけました。しかし、5人で戦い続ける筑紫丘は体力負け。第3クォーターに入ると足が止まり、得点力が激減。一時は6点のビハインドとなりましたが、何とか気迫で盛り返して56：54と再逆転で終了。第4クォーターは体力の限界。ラスト2分までは互角で食いついていきましたが、終盤でそれまで封じていた3ポイントシュートを次々に決められてしまいました。本当に残念でしたが、素晴らしい試合でした。

7月30～31日 シニアバスケットボール九州大会（福岡）

那珂川クラブは、シニア大会（40歳以上）で4年連続の全国大会出場をめざしましたが、準決勝で大牟田オールディーズに47：51で苦杯を喫しました。

大牟田オールディーズは九州大会優勝です。

筑籠会からの参加は、23回徳永・織戸・29回阿比留・30回宮本・32回堤の5選手

です。

8月4日～7日 男子合宿

筑紫丘高校で実施。57回の鳥飼君、中島君達、若いOBが参加していました。
筑籠会基金から5万円の援助を行いました。

8月10日～13日 女子合宿

筑紫丘高校で実施。筑籠会基金から3万円の援助を行いました。

8月27日～28日 国民大会九州予選

インターハイ準優勝の福大大濠と3位の福岡第一を中心のチーム編成ですが、筑紫丘の田上君が選手に選ばれました。田上君は、決勝の対沖縄選ではスタメン出場。98：97の激戦勝利に貢献しました。

全国大会準決勝の対三重県戦では、第3クォーター終了時に21点のビハインド。監督はオールメンバーチェンジを敢行し、出場した田上君は反撃の口火を切る3Pシュート。逆転勝利の立役者となったとのこと。「月刊バスケットボール」に「全国大会ではあまり顔の知られていない実力派3選手」の一人として掲載されました。

9月10日 ウィンターカップ予選県大会（男子）

シードされ、準々決勝からの出場。九州を圧勝で破りましたが、準決勝で福岡第一に敗戦。インターハイ予選に続き、2大会連続で福岡県第3位の成績を収めました。

9月18日 壮年大会

香椎高校で開催。選手が少なく残念ながら2連敗。うーむ。来たれ若手壮年（35歳以上）。参加は、高20回赤星・高23回徳永・織戸・高27回広田・高29回阿比留・高30回宮本・高32回堤・高37回篠原の8選手、応援は高3回石川先輩でした。

9月23日～24日 遠征（女子）

熊本に遠征しました。筑籠会基金から3万円の援助を行いました。

9月24日～25日 田中杯（男子）

春日高校の元監督、田中先生の活躍を記念して創設された「田中杯バスケットボール大会」が今年は熊本県玉名市で開催され、筑紫丘が招待されました。

福岡・熊本・大分・長崎・愛媛から10校が参加。筑紫丘は3勝1敗の戦績、優勝は中村山陽でした。

10月23日 ばんけん会

故内田先生（愛称 番犬）を記念する懇親コンペを開催しました。

11月19日～23日 新人戦予選（男子）

中部地区5位となり、新チームでも県大会出場です。

12月10日 忘年会

男子顧問の吉住先生、女子顧問の清輔先生、保護者5人も参加して、現役の活躍を肴に大いに盛り上がりました。

PTAが発行する広報誌「丘の上」が、部活動の活躍を特集する「号外」を発行し、これに男子バスケットボール部の県大会3位が掲載されています。

12月27日～ 遠征（男女）

男女共、大分に遠征。筑籠会基金から男子に5万円、女子に3万円の補助を行いました。